

施策評価調書(5年度実績)

施策コード Ⅲ-3-(3)

政策体系	施策名	スポーツによる地域の元気づくり	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	147
	政策名	スポーツの振興	関係部局名	企画振興部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	国際スポーツ大会等の誘致	スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進	ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承

【Ⅱ. 目標指標】

i	指 標	関連する取組No.	基準値		5年度			6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
	合宿等受入人数(人)	①②③	H30	60,386	84,000	70,594	84.0%	90,000					

【Ⅲ. 指標による評価】

i	評価	理 由 等	平均評価
	達成不十分	新型コロナウイルスの影響による行動の制限がなくなり、県内でも合宿の実施が復活した。その結果、今年度は目標値には達しないものの、コロナ前を上回る過去最高の受入人数となった。また、ラグビー日本代表や水球女子ハンガリー代表等のナショナルチームの合宿誘致をはじめ、柔道や剣道といったこれまで誘致実績のない新たな競技の合宿を受け入れるなど、トップチームの合宿件数についても、R2年度のスポーツ合宿誘致推進協議会の発足以来、最高の誘致件数となった。	達成不十分

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・「ツール・ド・九州2023」の機運醸成を図るため、県内各地でのイベント実施や、シテイドレッシングを行った。 ・大会当日の賑わいづくりや、WEBを活用した誘客を実施し、想定を上回る約27,000人が日田市で観戦し、大きな賑わいを創出した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のプロスポーツチームが学校等への訪問交流を実施することにより、選手と子どもたちとの交流機会やスポーツチームの情報発信の場を創出することができた。 ・県内各地で行った出張型スケートボード教室には253人が参加した。また、県内2回目の開催となったキッズ向けスケートボードコンテストには、209人が参加、800人以上が観覧し、アーバンスポーツに親しむ機運の醸成が図られた。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏と連携し、タグラグビーや車いすラグビーなど、様々な形で楽しむ体験会を開催した。また、MR(複合現実)やAR(拡張現実)などの先端技術を活用した体験会を県内各地のイベント会場等で10回実施し、未経験者や観戦したことのない人にも魅力を伝えることができた。 ・ラグビーワールドカップ2023フランス大会の日本代表応援イベントとして、大分駅前広場で日本代表戦のパブリックビューイングを2回実施した。それぞれ約1,000人のファンが来場し、多くの県民へラグビーに親しむ機会を提供することができた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	ツール・ド・九州推進事業	103.8	358
②	スポーツによる地域の元気づくり事業	105.3	358
	大分スポーツ地域活力創出事業	83.3	358
③	おおいたラグビー次世代継承事業	106.3	359

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R5.8)</p> <p>・スポーツが地域の元気づくりに貢献していけるよう、日本代表チーム等の合宿誘致に努めていただきたい。</p>	<p>○R5年大分県第4回定例会(R5.12)</p> <p>・多種多様なプロスポーツチームが本県を拠点に活動していることは、県民に勇気や活力を与えていると思う。こうしたプロスポーツを活かした地域の活性化に県としても取り組んでいただきたい。</p>
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年に大きな盛り上がりを見せたツール・ド・九州大分ステージをR6年も継続開催することにより、引き続き参加チームの合宿誘致をはじめ、観戦に訪れた方々に対するおもてなしを充実させ、交流人口の拡大に取り組む。また、本大会を機としたサイクリストの誘客にも繋げるため、インフルエンサー等を活用した県内外への情報発信を強化する。 ・県内の優れたスポーツ施設や合宿受入実績を活かすことに加え、温泉や食事等の本県の魅力をPRし、県と市町村、競技団体等が一体となって、スポーツ合宿の誘致に取り組む。 ・より多くの県民がスポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチームによる小学校や総合型地域スポーツクラブへの訪問交流や、大分駅構内のデジタルサイネージを活用してプロスポーツチームの魅力を発信するほか、県内各プロスポーツチームのホームゲームへの県民無料招待を実施する。 ・ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承をさらに推し進めるため、横浜キヤノンイーグルスや大分県ラグビーフットボール協会との連携を強化し、大分県ラグビーフェスティバルやラグビークリニック等の開催に取り組む。